

筑波学園都市交流協議会 労働衛生委員会主催
「2021年度 第1回 情報交換会」開催報告

1. 開催概要

1.1 日時

令和3年5月26日（水曜日） 15時00分～17時00分

1.2 会場

文部科学省研究交流センター（つくば市竹園2-20-5）

1.3 内容

2020年度は新型コロナウイルス感染症のため開催できなかったため、1年3ヶ月ぶりの開催となった。参加機関に呼びかけ、産業保健や人事労務に関わる職員らの参加を募集し、以下のテーマで情報交換を実施した。

<テーマ>

- ①COVID-19にまつわる産業保健上の課題
- ②メンタルヘルス、およびコミュニケーション上の課題

【情報交換会の構成】

- (1) 開会挨拶、趣旨説明、および参加者自己紹介（15分）
- (2) 意見交換会（1時間40分、途中休憩あり）
- (3) 閉会挨拶、および委員会主催の調査への協力お願い（5分）

1.4 参加者

参加者数：26名 事務局 ： 1名

（主催）

笹原信一郎 委員長（筑波大学医学医療系 准教授）

（総合ファシリテーター）

大井雄一 委員（筑波大学医学医療系 助教）

（ファシリテーター）

道喜将太郎 委員（筑波大学医学医療系 助教）

堀大介 委員（筑波大学医学医療系 助教）

高橋司 委員（筑波大学医学医療系 助教）

2. 議事録

議論が交わされた内容について要約を示す。なお、筑協および労働衛生委員会としての見解を示すものではないことに留意されたい。

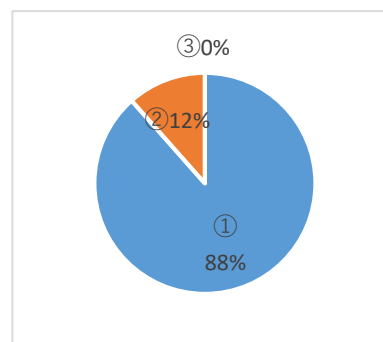
前半	COVID-19 にまつわる産業保健上の課題
<p>◆健康診断の実施について 2020年度は実施を見送るなど混乱が多かった。 2021年度は予約制にして健康診断の受診を整理することによって効率化が図られた。一方で、事務担当の負担が大きくなる面もあった。</p> <p>◆ワクチンについて</p> <ul style="list-style-type: none">・ワクチン接種後の感染対策について ワクチンを打つことで感染リスクがゼロになるとは言い難い。マスクなど基本的な感染対策は継続したほうが良い。 ・職員のワクチン接種状況の把握について 接種が任意であり医療情報でもあることから、聴取するのは難しい面もある。業務命令として職員に接種させることがあるようなら、把握できるかもしれない。病院では職員の麻疹風疹抗体の情報などは収集しており、同様の合理性が認められれば把握可能であろう。 ・ワクチンの副反応について ワクチン接種の次の日に副反応を示す職員が多い。接種する部署を分散することで次の日にまとまって休んでしまうリスクを避けられる。 ワクチンの副反応や不利益が過剰に報道されており、不安が惹起されやすい。	

後半	メンタルヘルス、およびコミュニケーション上の課題
<p>◆テレワークについて</p> <ul style="list-style-type: none">・テレワークの健康問題 在宅勤務特有の健康障害による労災が懸念される。 身体活動量が低下しやすい。 ・コミュニケーションの変化 テレワークやウェブ会議が増える等、コミュニケーションの在り方が大きく変化した。これまで以上に積極的に職員間のコミュニケーションの機会を作る必要に迫られた。朝5分でもオンライン上で顔を合わせるなど、定期的なコミュニケーションの時間を決めておくのは有効だった。	

3. 参加者事後アンケート集計結果

問1 今回の情報交換会は参考になりましたか？

選択肢	件数	割合
① 参考になった	23	88%
② どちらとも言えない	3	12%
③ 参考にならなかった	0	0%

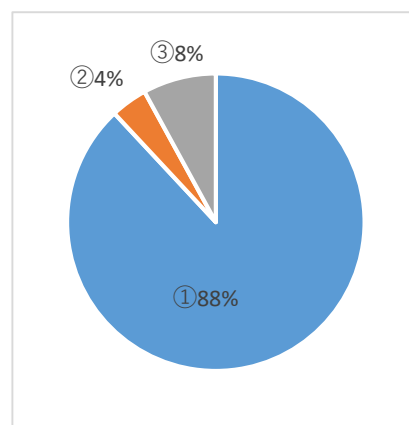


<回答者コメント>

- ・他事業場の試みが分かり参考になった。
- ・弊社ではワクチン接種はまだ始まっていないので、副反応等の情報が大変参考になりました。また、労基署の方のコメントも大変参考になりました。ありがとうございます。タイムリーなトピックスをおとりあげいただき、感謝申し上げます。
- ・思っていたより参加者の意見・発言が少なく残念でした。
- ・守らなければならないものの、本質をよく見きわめて、恐怖に対する「個人差」も重要な要素として考えていくために、これまでとかわらずたくさんコミュニケーションをとりつづけていきたいと思いました。
- ・医療関係者の方の出席も多く、専門的な話を聞くことができた。
- ・医療機関の現状や、今後一般にも本格的にワクチン接種が進められていくにあたり、見込まれる問題やそれに伴う対策について情報を得る事が出来ました。
- ・発言が出にくかったのは残念。オンラインだと更に盛り下がると推測する。
- ・コロナ情報は日々変化しているため、それに合わせて対応策も変化しなければならないと感じた。
- ・他機関の情報や先生方のお話を伺えて勉強になりました。個人的には職域下でのコロナワクチン接種の動向を注視していきたいと思います。
- ・産業医の先生方や皆様の意見をきくことができて、よかったです。
- ・他の事業所の方々が、どのようなことにご苦労されているか、知りとても参考になりました。皆さん、同じようなことで困ってらっしゃるんだと安心しました。
- ・医療系の方のお話が聞けて大変参考になりました。
- ・健康診断、コロナ対策、テレワークの問題と有用だった

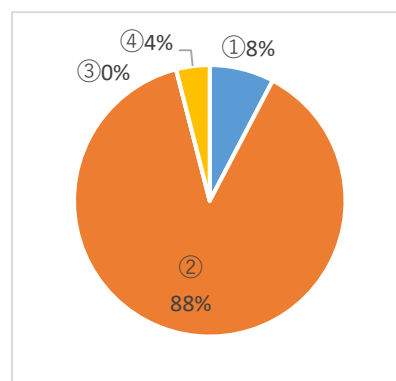
問2 今回の情報交換会の開催形態は適切だったと思いますか？

選択肢	件数	割合
① 対面での開催でよかった	23	88%
② オンライン開催の方がよかった	1	4%
③ 無回答	2	8%



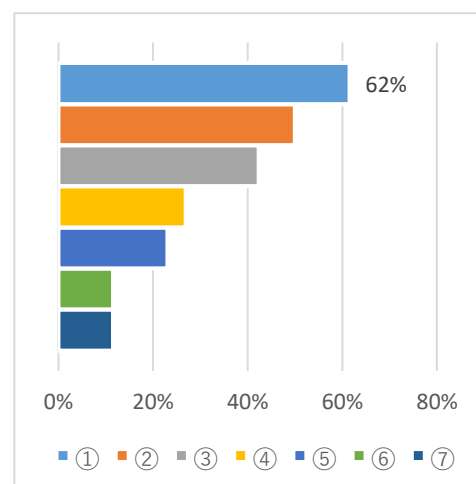
問3 今回の情報交換会の時間配分は適切だったと思いますか？

選択肢	件数	割合
① 短い	2	8%
② ちょうど良い	23	88%
③ 長い	0	0%
④ 無回答	1	4%



問4 今回の情報交換会は COVID-19 を全体のテーマとしましたが、これまでは参加者の皆さんから興味のあるテーマを募集し、小グループを作って情報交換をしてきました。興味のあるテーマがあれば教えてください。
(※複数回答可)

選択肢	件数	割合
① メンタル不調者への対応及び課題	16	62%
② 健康管理と労務管理の連携及び課題	13	50%
③ ハラスメントへの対応及び課題	11	42%
④ 病気や介護を抱える職員に対する就労支援及び課題	7	27%
⑤ 働き方改革に伴う対応及び課題	6	23%
⑥ ダイバーシティやインクルージョンへの対応及び課題	3	12%
⑦ SDGs の推進に伴う対応及び課題	3	12%



<回答者コメント>

- ・ 解答のない問いを共有できてよかったです。
- ・ 障害者の採用で、精神的問題の方は、特に受け入れ側の教育も大切と考えます。
- ・ 障害者を雇用するにあたっての課題（マネジメントや周囲の理解など）
- ・ 健康管理と安全衛生管理の連携
- ・ メンタル不調者を部下に持つ上長／グループのフォロー等について、繰り返し病休を取得する職員への対応について

問5 その他、御意見や御感想があれば御記入ください。

<回答者コメント>

- ・ありがとうございました。
- ・事前質問にいくつかまとめてコメントいただけると良かったかもしれません。(28名ですと、口火を切りにくいケースもあるのでは)
- ・密を避けるためではあると思いますが、フロアの広がり方、マイクの使用など発言しにくい環境だったかもしれません。
- ・今日も大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・勉強になりました。ご準備いただき、ありがとうございました。
- ・参考になりました。ありがとうございました。
- ・Covid-19 関連のお話が聞ければと思いました。
- ・本日は貴重な意見交換の会を設けて頂き、ありがとうございました。コロナ感染防止対策が万全で安心感はありませんでしたが、少々発言しにくい雰囲気だったかな、と感じております。大変勉強になりました。
- ・今後も続けていただきたい。安全衛生の話題もあれば(巡視など)いいと思う。
- ・グループ分けしても良かったように思います。
- ・今回初めての参加でかつ、知識が乏しくみなさんについていけるのか不安でしたが、あまり専門的な話ばかりでなく良かったです。機会があればまた参加したいと思えます。ありがとうございました。
- ・大変勉強になりました。お忙しいところ開催いただき有難うございました。
- ・初めて参加させていただきました。皆様の貴重なご意見をきくことができ、大変参考になりました。ありがとうございました。事前に各事業所のとりくみについて、まとまった簡単な資料などがあると、参考になるな、と感じました。
- ・オンラインでもどちらでも大丈夫です。
- ・感染対策に配慮した会場のセッティング等、ありがとうございました。グループワーク形式での開催は難しいかもしれませんが、次回開催をお待ちしております。
- ・小グループの方が気軽に発言質問しやすいと思うが、今回の人数なら全体の方が広く意見をきけたところもあったので、良い面もあったと思う。
- ・次回も楽しみにしています。

4. つくば健康生成職域コホート調査研究について

最後に笹原委員長から、労働衛生委員会が2021年度秋に実施予定であるつくば健康生成職域コホート調査研究(T-SOCS: Tsukuba Salutogenic Occupational Cohort Study)(旧:生活環境・職場ストレス調査)への協力依頼があった。

筑波研究学園都市ならではのエビデンスに基づいた調査を実施し、UptoDateな情報を発信していく。そして、参加機関の職員がより健康に働いていくための要因(Salutogenic Factor)を明らかにし、参加機関にフィードバックしていくと説明があった。